

◎ 特別支援教育部門

1 特別支援学級等設置状況

小学校 32校 67学級（担任数 69人、児童数 152人）

中学校 18校 33学級（担任数 35人、生徒数 62人）

計 50校 100学級（通級指導教室 5教室を含む。）

2 行事及び内容（関連行事も含む）

5月28日（月） 第1回特別支援教育部門研究委員会（天草教育会館）

6月18日（火） 第1回担任研修会（天草教育会館大会議室）

○役員選出、年間事業計画作成、各種行事説明、ブロック別協議

○講話「児童生徒の自立と社会参加をめざした教育課程の編成」

本渡南小学校赤城理恵教諭

8月2～20日 第2回担任研修会・・・各自選択し各研修会へ参加

天草地区特別支援教育セミナー（8/2）・県特別支援教育夏季研修会（8/7）

特別支援教育基礎講座（8/19・20）

8月26日（月） 特別支援学級担任ブロック代表者会議（天草教育会館）

第3回担任研修会の計画、2学期の計画について

9月 6日（木） 第3回担任研修会（天草教育会館大会議室）

○経過報告及び今後の計画、協議（あきのつどい・学習成果発表会、天草郡市文化展、天草であいふれあいフェスタ等について）

○実践発表：（発表者）天草市立有明中学校泉智章教諭

（発表主題）「自立や社会参加をめざす学習指導の工夫について」
～個性や地域性を生かした作業学習の取り組み～

○ブロック別協議（今後の計画等）

10月10日（木） あきのつどい・学習成果発表会 会場：稜南中学校体育館

○午前の部・歌、ダンス、楽器演奏、体操など。みんなで練習してきた「くまモン体操」を上島・下島のブロックに分かれて楽しく披露した。

○午後の部・みんなでゲームや宝探しなどのレクリエーションで楽しく活動した。保護者やPTA関係者は、木村社会教育主事による親の学びプログラムの研修や情報交換会を実施した。

10月20日（日） 天草支援学校であいふれあいフェスタ

ステージ発表で下島地区が参加。各種催し物、バザー等を楽しむ。

11/1～11/4 天草郡市文化展（天草教育会館）※特別支援学級児童生徒作品展

1月16日（木） 第2回特別支援教育研究委員会（有明中小学校）

2月21日（金） 第4回担任研修会

講演：長崎大学医学部保健学科准教授 岩永竜一郎氏

演題：「自閉症スペクトラムの子どもの理解と支援」

年間反省等

3 反省及び今後の課題

(1) 第1回担任研修会では、特別支援教育の教育課程について再度確認することができた。また、特別支援教育に関する指導・支援方法の情報交換や相談等を行うことができた。第3回研修では自立や社会参加をめざす学習指導の工夫について～個性や地域性を生かした作業学習の取り組み～について実践発表を聞くことができ、作業学習の意義、生徒の個性を伸ばす取り組みなど実践的研修ができた。



☆秋のつどい(学習成果発表会) くまモン体操



☆秋のつどい(学習成果発表会)
あ〜ぶるくんと体操



☆天草支援学校
であいふれあいフェスタ

また、第2回担任研は、夏季研・特別支援教育セミナー、基礎講座から各自選択して研修した。

第4回研修では長崎大学医学部保健学科准教授 岩永竜一郎氏による「自閉症スペクトラムの子どもの理解と支援」の講演を聞くことができ、具体的な実践方法等について学ぶことをとおして教職員の専門性の向上につながった。

今後も担任研修の一層の充実とともに、各学校での特別支援教育の着実な積み重ねや各校の連携が必要である。

(2) 天草支援学校であいふれあいフェスタへは、児童生徒数の増加により上島・下島・本渡の3グループに分かれての参加となった。本年度は下島地区がステージ発表。大型遊具や楽しい出し物、バザーなど、児童生徒・保護者ともに有意義な一日になった。

(3) 「あきのつどい」は、本年度も天草地域の「学習成果発表会」と共催で行った。ダンス練習やレクレーションだけでなく各学校に希望を募ってステージ発表を行った。歌や楽器演奏、体操、スタンプなどさらに学習成果の発表として充実した内容となった。

児童生徒が中心となった司会進行も好評で、参加者の態度もさらに向上した。午後から保護者やPTA関係者を対象とした「親の学びプログラム」研修や情報交換会はさらに充実した取組となった。

天草地域での「学習成果発表会」として成功させることができた。

(4) 天草郡市文化展では、通常学級の書写・絵画・科学展などと合同で特別支援学級作品展を啓発を兼ねて開催した。また、学習成果発表会の展示部門の意味合いも含めて開催した。創意工夫のある個性的な作品が揃い見ごたえがあった。全員の作品を多くの人に見てもらうことや賞状を貰えるため励みや自信になっている。